



洪水に対する住民啓発手段に関するシンポジウム

洪水に強いコミュニティのための 市民 & 行政の新しいパートナーシップ

主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所

従来、わが国における洪水対策においては、行政による取り組みだけでなく、住民の自主的な判断や地域の中での助け合いが重要な役割を担ってきました。しかし、会社勤めの水防団員にとって日中の対応が難しくなっているほか、核家族化による水害に対する知恵の伝承の断絶、さらには高齢化、過疎化などの新たな問題が生まれています。

このシンポジウムでは、ブレインストーミング形式を用いて参加される皆さんとともに議論することで、現代の洪水対策のために真に求められる地域コミュニティの役割、そしてそれに対する行政側の支援のあり方を明らかにします。

日時：2005年1月19日（水）午前9時30分～11時45分

場所：神戸国際会議場502会議室

神戸市中央区港島中町6-9-1 TEL 078-302-5200

言語：日本語 & 英語（同時通訳あり） 定員：100名（先着順）

○基調講演（午前9時35分～10時15分）

「台風23号による洪水被害と対応（仮題）」

中貝宗治／豊岡市長

「オーストラリアにおける洪水対策—地域コミュニティと行政の役割」

ブルース・スチュワート／オーストラリア気象庁

○参加者全員によるブレインストーミング・セッション（午前10時15分～11時40分）

参加費：無料

ブレインストーミングとは、

参加者から幅広く、効果的に意見を聴取するためのひとつの方法です。第3回世界水フォーラムにおいても採用されたほか、北海道では、釧路湿原に関する住民との対話の場でも用いられています。今回は参加者にブレインストーミングに参加していただくことによって、その有効性を実体験によって確認してもらいたいと考えています。

（お申込み・お問い合わせ先）

特定非営利活動法人 日本水フォーラム

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-8-1

半蔵門MKビル6F

TEL：03-5212-1645 FAX：03-5212-1649

FAX 03-5212-1649

日本水フォーラム 行

洪水に対する住民啓発手段に関するシンポジウム参加希望

お名前		ご所属先・役職名	
電話番号		FAX 番号	
e-mail アドレス		ご担当者名	

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、1月17日(月)までにFAXにてお申し込みください。
また、e-mailでのお申し込みも受け付けておりますので、「洪水に対する住民啓発手段に関するシンポジウム」と明記の上、お名前、ご所属先名、電話番号、FAX番号、e-mail アドレスを添えて、下記までお申し込みください。

(お申込先) 特定非営利活動法人 日本水フォーラム

TEL : 03-5212-1645 FAX : 03-5212-1649 e-mail : f-sympo@waterforum.jp

プログラム

- 9:15- 受付開始
9:30- 9:35 開会
9:35- 9:55 基調講演1「台風23号による洪水被害と対応(仮題)」
中貝宗治/豊岡市長
9:55-10:15 基調講演2「オーストラリアにおける洪水対策—地域コミュニティと行政の役割」
ブルース・スチュワート/オーストラリア気象庁
10:15-11:40 参加者全員によるブレインストーミング・セッション
(7名程度のテーブルにわかれたグループディスカッション)
11:40-11:45 閉会

(プログラムは変更になる場合があります。予めご了承ください。)

会場(神戸国際会議場)へのアクセス

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL:078-302-5200
FAX:078-302-6485
E-mail:info-t@kcva.or.jp URL:<http://www.kcva.or.jp>

- J R 三ノ宮駅からポートライナー(市民広場駅下車)で10分
- J R 新神戸駅から地下鉄(三宮駅乗り換え)ポートライナーで20分
- 関西国際空港からリムジンバス(三宮乗り換え)ポートライナーで80分
- 大阪(伊丹)国際空港からリムジンバス(三宮乗り換え)ポートライナーで55分

